

基本政策シート

2025年度	(管理番号)			部局名
	分野	基本政策		消防局
	03	05	01	

分野	基本政策
安全・安心・快適	いつでも、どこでも、迅速的確に対応する消防・救急体制づくり

将来の理想の姿(2044年)

どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後(2034年)の理想の姿

充実強化した消防・救急体制による迅速的確な対応が、平時でも緊急時でも、市民の安全・安心を守っている。

生活満足度に関する指標(分野指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
安全・安心・快適の実感	あなたの暮らしている地域は、安全・安心で住みやすいと感じますか。	3.46	3.44				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

政策体系

政策番号	政策	事業名	担当課名
01	01	消火・救急などの災害対応力の充実強化	消防訓練事業
			消防車両維持管理事業
			消防用資機材維持管理事業
			消防水利維持管理事業
			消防車両購入事業
			消防用資機材整備事業
			耐震性貯水槽設置事業
			防火井戸設置事業
			警防業務運営経費
			救急企画推進整備事業
			救急普及啓発事業
			消防航空隊運営維持管理事業
			消防航空隊安全運航事業
			消防ヘリコプター整備事業
02	01	119番通報・消防通信設備の適切な運用	消防指令センター機能維持管理事業
			消防情報・消防OA基盤整備事業
			消防救急デジタル無線システム再整備事業

※「事業名」は政策シート①事業活動(アクティビティ)における事業名

政策番号		政策	事業名	担当課名
03	01	火災予防の充実・火災による被害の軽減	立入検査等指導事業	予防課
			火災調査活動事業	予防課
			民間防火団体活動事業	予防課
			火災予防思想普及啓発事業	予防課
04	01	消防職団員の適正な確保・育成や消防施設の充実強化	消防企画・人材育成事業	消防総務課
			消防職員被服整備事業	消防総務課
			消防音楽隊等広報事業	消防総務課
			消防庁舎運営維持管理事業	消防総務課
			消防庁舎整備事業	消防総務課
			中消防署高台出張所建設事業	消防総務課
			南消防署・浜松第41分団等複合施設建設事業	消防総務課
			北消防署引佐出張所・引佐第3分団伊平建設事業	消防総務課
			消防総務運営経費	消防総務課
			消防団員出動等活動事業	消防総務課
			消防団運営管理等交付事業(交付金)	消防総務課
			消防団員被服整備事業	消防総務課
			出初式開催事業	消防総務課
			消防団施設維持管理事業	消防総務課
			消防団庁舎整備事業	消防総務課
			消防団資機材整備事業	消防総務課
			消防団員退職報償金支給事業	消防総務課
			消防団員等賞しゅつ金等支給事業	消防総務課
			消防団員等公務災害補償等共済事業(負担金)	消防総務課
			消防団運営経費	消防総務課
			消防団車両維持管理事業	消防総務課
			消防団車両購入事業	消防総務課
			消防団無線事業	消防総務課

※「事業名」は政策シート①事業活動(アクティビティ)における事業名

2025年度の取組の方向性

- ・ 充実した訓練を実施することで、消防救助技術の向上を図り、災害に対する即応体制を確保します。
- ・ 消防水利を適正に維持管理し、常に良好な状態を保ち、火災時において活用する水源を確保します。
- ・ 救急資器材等の購入を行うとともに、救急救命士を含む救急隊員の育成と救命処置の資質向上を行い、救急体制の充実を図ります。
- ・ 消防ヘリコプターの機動力を発揮して、各種災害に対応し被害の軽減を図るため、航空隊の自隊訓練及び地上隊、他機関と連携した訓練を実施し、航空消防体制の充実強化を図ります。
- ・ 通報者のニーズに迅速・的確に対応するため、指令管制員の操作・聴取技術の向上を図ります。
- ・ 消防通信体制の強化を図るため、消防救急デジタル無線システム再整備事業を推進します。
- ・ 市民及び事業所が高い防火意識を持ち、防火対策を実践するよう、市民や事業所に対して積極的に火災予防指導を実施します。
- ・ 幅広い世代に対して防火意識の啓発を行い、市民の防火意識の向上を図ります。
- ・ 「浜松市消防職員人材育成・確保基本方針」を改正するとともに、SNSや各種イベント等による積極的な広報活動を実施し、適正な消防職員の育成・確保に努めます。また、プロモーションアドバイザー制度の活用、学生広報隊による積極的な加入促進などにより、消防団員の確保に努めます。
- ・ 中消防署高台出張所、南消防署・浜松第41分団等複合施設、北消防署引佐出張所・引佐第3分団伊平の建設事業を計画的に進め、消防施設の充実強化に取り組みます。

【2025年度の評価】

2025年度の基本政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

- ・ 各種災害を想定した訓練を計画的に行い、職員の消防救助技術の向上に努め、災害即応体制を確保した。災害対応に関する訓練を継続し、大規模災害時における受援に関する訓練についても積極的に実施していく。
- ・ 消防水利の調査点検を実施するとともに、必要な維持管理を行い、火災時において活用する水源を確保した。消防水利の老朽化等に対応するため、消防水利維持管理計画を策定し、計画的に維持管理を行っていく。
- ・ 適切に救急資器材を購入するとともに、計画的な研修、訓練等による救急隊員の育成、救命処置の資質向上に努め、救急体制の充実を図った。
救急隊員の更なる技術向上と救命処置の資質向上を図るため、指導救命士による教育体制を確立していく。
- ・ 航空隊の自隊訓練及び地上隊、他機関と連携した訓練を計画的に実施し、航空消防体制の充実強化を図った。安定した航空消防体制の確保のため、操縦士等の育成、計画的な航空従事者の確保を行っていく。
- ・ 緊急通報対応については、指令管制員の操作・聴取技術の向上を図り迅速かつ適切に遂行できた。
今後も、災害現場の状況や通報者の要望を迅速かつ的確に把握し、円滑な指令管制業務を遂行していく。
- ・ 消防通信ネットワークについては、維持管理業務を適切に遂行した。
今後も適正な維持管理を継続するとともに、災害に強いネットワークの構築していく。
- ・ 事業所の立入検査等において、危険度を考慮した査察計画を樹立し実効性のある査察に努め、法令等に適合しない対象には、早期に是正を図った。
引き続き、適切な査察業務の執行及び職員の人材育成を行っていく。
- ・ 火災予防思想の普及啓発について、イベントの開催及び参加、SNSなどのデジタルツールを活用し、目標となる広報活動を実施した。また、小学校3年生を対象としたスクール119の開催、高齢者と接触する機会の多い民生委員を対象に防火アドバイザーの講習を実施した。
引き続き、新たな広報ツールを活用し市民へ広報していく。
- ・ 「浜松市消防職員人材確保・育成基本方針」を改正し、職員のエンゲージメントを高めるとともに職員一人ひとりが消防広報の重要性を理解して消防職団員の確保・育成事業を行った。
消防団支援担当課長や消防広報主任者を中心に、新たな取り組みにより団員確保や育成を行っていく。
- ・ 令和8年4月中消防署高台出張所の運用を開始し、南消防署・浜松第41分団等複合施設及び北消防署引佐出張所・引佐第3分団伊平の2施設は建設工事や旧庁舎の解体工事等、計画に従い順調に事業が進んでいる。
消防局と消防団の施設整備計画を統合して「浜松市消防施設等整備計画(2026～)」を策定し効率的な施設展開を行っていく。